

平成 30 年 6 月 8 日

各 位

会 社 名 フリービット株式会社
 (コード番号 3843:東証第一部)
 本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号
 代表者 代表取締役社長 田中伸明
 問合せ先 執行役員グループ経営管理本部長 和田育子
 電話番号 03-5459-0522(代表)
 (URL <http://www.freebit.com>)

通期業績予想と実績値との差異並びに営業損失及び特別損失の発生に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 6 月 9 日に公表した平成 30 年 4 月期（平成 29 年 5 月 1 日～平成 30 年 4 月 30 日）の通期連結業績予想と本日公表の実績値との差異が生じたので、お知らせいたします。また、営業損失（商品評価損）及び特別損失（事業撤退引当金繰入額、減損損失）を計上することとなりましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 4 月期通期連結業績予想と実績値の差異（平成 29 年 5 月 1 日～平成 30 年 4 月 30 日）

(1) 差異の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	40,000	2,000	1,900	100	4.51
実績値 (B)	38,653	1,851	1,426	△567	△25.56
増減額 (B-A)	△1,346	△148	△473	△667	—
増減率 (%)	△3.4	△7.4	△24.9	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 4 月期)	35,222	1,321	807	△150	△6.77

(2) 差異の理由

当社グループは、中期事業方針『SiLK VISION 2020』を掲げ、2020 年（平成 32 年）4 月期に連結売上高 500 億円、連結営業利益 50 億円の達成を目指し、「成長領域に注力した新分野への進出と継続的発展」を図っていくとの戦略のもと、モバイル事業・アドテクノロジー事業の継続成長及び生活領域（“Health Tech”、“IoT”、“不動産 Tech”）の中長期での事業拡大に努めています。そして、当期においても上記方針に則り事業を推進したことが奏功し、売上高、営業利益及び経常利益が前期実績を上回る見通しで推移しています。

また、“不動産 Tech”領域を担う連結子会社である株式会社ギガプライズの堅調な業績に加え、投資対象である“Health Tech”領域を担っていた同じく連結子会社の株式会社フリービット EPARK ヘルスケア（以下、「FB-EPH」）が当第 3 四半期会計期間より黒字転換するなど下期に大きく収益が向上し、来期以降もこの基調は継続する想定であります。

一方で、平成 29 年 12 月 8 日付の「営業外費用（持分法による投資損失）及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ」で公表した営業外費用 407 百万円及び特別損失 128 百万円に加え、本日公表の営業損失及び特別損失を計上することとしたことから平成 29 年 6 月 9 日公表の通期連結業績予想との差異が生じました。

2. 損失計上の内容

(1) 営業損失について

当社が ODM (Original Design Manufacturing) 生産しているスマートフォン端末のうち、新機種の提供開始に伴う旧機種の販売終了により、当該旧機種の商品評価損 152 百万円を計上することといたしました。

(2) 特別損失について

① 事業撤退引当金繰入額

“Health Tech” 領域の事業拡大を目的として当期に子会社化した(株)医療情報基盤において、FB-EPH との一層の事業シナジー創出を目的としたビジネスモデルの転換に伴い、事業撤退引当金繰入額 103 百万円を計上することといたしました。

② 減損損失

本日、連結子会社の株式会社フルスピードが公表した「業績予想値と決算値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、同社が当連結会計年度末において、減損損失 209 百万円を計上することになったことによるものです。

以上